

姫路市消防フェア ～スマート消防団にズームイン!～開催!!

姫路市女性消防団員 市民向け広報ステージデビュー

記事：(公財)兵庫県消防協会



119番通報のポイント



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

あなたなら
無事故の着地
決められる!

平成二九年十一月三日(祝金)、秋晴れの爽やかな空気の中、姫路城近くの大手前公園と家老屋敷跡公園にて、姫路市消防フェア「スマート消防団にズームイン!」が開催されました。また、JR姫路駅から大手前公園にかけては、消防音楽隊による「一九番適正利用の推進パレードや、住宅用火災警報器設置促進街頭キャンペーンなども行われ、市民に消防の活動を広く知っていただき、消防・防災について楽しく学ぶ地域密着型のイベントでした。当日は、姫路菓子まつり二〇一七、姫路城皮革フェスティバル二〇一七、第三〇回全国陶器市、ひめじ福祉まつりも同時開催され、お年寄りから小さなお子さんまで多くの方々が大変賑わっていました。

午前十時に消防フェアが開会し、まず、司会者から「消防団員とはどのような活動をしている人たちか」というアナウンスがあり、来場された方々が「消防団」について、分かりやすく理解することができました。

続いて富田飾磨消防団長より、消防を応援するファイヤーファイターガールである佐々木ゆかさんへ、一日消防団長として委嘱状が手渡され、福本姫路東消防団長より法被を、そして大塚姫路西消防団長より襷が手渡されました。佐々木さんは、法被のずっしりとした重さに驚きながらも、ファイヤーファイターガールとして、「君と赤い花」と、「真夜中すぎのチェネレントラ」の二曲をステージで披露されました。中でも「君と赤い花」とはご本人が作詞され、「君を守りたい」という想いにあふれた消防のイメージソングとなっており、たくさんの方々が聞き入っていました。



119番適正利用推進パレード

佐々木さんのステージの後には、いよいよ姫路市女性消防団員による広報ステージです。この度、初ステージデビューということで、県消防協会事務局が取材させていただきました。

姫路市の女性消防団員は、平成二四年に採用が開始され、姫路東、姫路西、飾磨消防団にそれぞれ所属しています。採用開始から五年ほどの間に知識を増やし、そして消防団員同士の横の繋がりを築き、この度のようなステージを作り上げることができました。

この日のステージでは、まず十名の女性団員さんが救急救命体操を披露されました。一九八九年に姫路で開催された「姫路シロトピア博」のテーマソング、「夢あるまち

(姫路)」を女性消防団員さんの手でアレンジし、替え歌を作り、そして振り付けも考えたそうです。

また、「一九番通報のかけ方」「あ・め・は・お・い・し・く」の説明や簡易担架の作り方などの説明を行い、ステージ上で実演されました。限られた時間の中でも、いざという時の行動について、市民へ分かりやすく説明でき、多くの方々が立ち止まって熱心に観ておられました。



消防音楽隊による演奏

この初ステージに向けて女性消防団員の皆さんは、八月頃から準備を始めたそうです。それぞれ、仕事や家庭があり、なかなか思うように集まる機会を持てなかつたそうですが、個々に連絡を取り合い、何とかお休みの日に予定を合わせて集まって練習を行い、本番の日を迎えました。ステージを拝見したところ、初ステージとは思えないほど落ち着きを持ち、市民へ楽しく分かりやすく救急救命について伝えることができているように感じました。またそれと同時に



一日消防団長に就任した
ファイヤーファイターガールの佐々木ゆかさん

に「女性消防団員」とは何か、どのような活動をしているのかということも、このステージをおして市民へ伝えることができていました。

女性消防団員の皆さんがステージを務められている間、家老屋敷跡公園では、男性消防団員の皆さんが、来場した子どもたちに放水体験をさせてあげたり、水消火器を使用した当てゲームを行っていました。また消防車両展示や消防団活動紹介のパネル展示を行うなどのブースを設け、消防団の活動について広く市民へPRし、次代の消防団を担う子どもたちにもしっかりとアピールすることができていました。

姫路市消防団、姫路市消防局が総力をあげて取り組まれた「姫路市消防フェア」は、盛況のうちに終了しました。今後とも、姫路市民の安全、安心を守るため、積極的に活動していただきたいと思います。

そして「兵庫消防」読者の皆さま、今回初ステージデビューを飾った姫路市女性消防団員の皆さんの今後の活躍を、ぜひご期待ください!



簡易担架作成



救急救命体操



放水体験



子ども達へ風船の配布



同時開催された「姫路城皮革フェスティバル」

姫路市消防フェア ～スマート消防団にズームイン!～



姫路城



水消火器的当てゲーム



同時開催された「全国陶器市」



同時開催された「菓子まつり」



同時開催された「ひめじ福祉まつり」



「第二十三回全国女性消防操法大会」を終えて

神戸市灘消防団
第四分団 谷本 佳恵

私たち神戸市灘消防団は兵庫県代表として、九月三〇日(土)に秋田県秋田市で開催された第二十三回全国女性消防操法大会に出場させていただきました。前日のリハーサルと大会当日共に雨が降り、開会式が始まると、雷様まで歓迎してくれたお天気の中で大会でしたが、私たちの出番

にはなんとか雨は降り止んでくれました。天気が最悪だったこともあり、自分たちの出番までにバタバタしてしまったことが逆に良かったのか、緊張することなく、普段と変わらない心境で操法をできた本番でした。それでも結果は入賞できず。私たちは入賞を目標に昨年

一月よりこの大会に向けた訓練を始め、四月からは三日に一回のペースで、平日は夜に神戸市立王子動物園の駐車場で、土日祝は午前中に灘浜緑地公園をお借りして、行ってきました。仕事と子育てをしている日常だけでもバタバタしているのに、訓練が加わると正直、自分の頭も身体も

さるのです。仕事や家事を終えすぐに、私たちの訓練がスムーズにできるように先に行って、準備をしてくださいました。そして、選手の私たちは毎回訓練に出て、頑張るのは当たり前のことですが、三日に一回のペースで私たちの支援のために駆けつけて来てくださる方の人数も多く、正直、大変だったのではないかと思います。しかし、その中にも愚痴を言う人はおらず、私たちに「お疲れさん」と声を掛けてくれました。そんな仲間がたくさんいてくれるというだけで、どれだけ支えられたことか。本当に感謝し

この訓練に参加していたメンバーの中で一番年の若いのが三八歳の私でした。また、私の母と同じ年代の方が何人もおられます。しかし、灘消防団の皆さんのパワーが凄いこと。愚痴を言う人は誰もおらず、向上心がとても強く、とてもキラキラしているのです。厳しい時もありますが、フォローもしてくれ、心から尊敬する人ばかりです。ですから、正直、「今日は何しんどいなあ」と思う日もありました。訓練に行くたびに逆のパワーをもらって頑張ることができました。もうひとつ灘消防団の凄いところは、支援に来てくださった団員の皆さんです。毎回、たくさんの方が来てくだ

今回の大会では惜しくも入賞を逃しましたが、この訓練を通して、神戸市灘消防団のチームワークと絆は更に強いものになったと思います。そして、この仲間に入れていただき、貴重な経験をさせてもらえ、本当に良かったと心より感謝しています。

最後になりましたが、灘消防署一係の署員の皆様には一から丁寧に指導していただき、また、私たちと一緒に試行錯誤しながら、親身により良くなるようフォローしていただき、本当に感謝しています。灘消防署員の皆様と灘消防団員との距離を縮めることができ、絆ができたことを心より嬉しく思います。



兵庫県



秋季全国火災 予防運動の実施

(消防庁予防課)

実施期間

平成二九年十一月九日(木)
から十一月十五日(水)

目的

この運動は、火災が発生しやすいつきを迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とします。

平成二九年度
全国統一防火標語

『火の用心 ことばを形に 習慣に』

重点目標

- (一) 住宅防火対策の推進
 - ・住宅用火災警報器の設置の徹底、適切な維持管理の必要性、方法等の具体的な広報及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進
 - ・住宅用消火器を始めとした住宅用防災機器等の普及促進
 - ・たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
 - ・防災品の周知及び普及促進

- ・消防団、女性(婦人)防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
- ・地域の実情に即した広報の推進
- ・高齢者等の要配慮者の把握や安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進

(二) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進

- ・延焼拡大危険性の高い地域を中心とした火災予防広報や警戒の徹底
- ・火災予防広報の実施
- ・たき火等を行う場合の消火準備及び監視の励行
- ・火気取扱いにおける注意の徹底
- ・工事等における火気管理の徹底

(三) 放火火災防止対策の推進

- ・放火火災に対する地域の対応力の向上
- ・パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
- ・効果的な放火火災被害の軽減対策の実施

(四) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

- ・防火管理体制の充実
- ・避難施設等及び老朽化消火器を始めとする消防用設備等の維持管理の徹底

- ・防災物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
- ・防火対象物定期点検報告制度及び防災管理点検報告制度の周知徹底
- ・違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
- ・ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底
- ・表示制度及び公表制度の取組の推進
- ・高齢者や障害者等が入居する小規模福祉施設における防火安全対策の徹底
- ・有床診療所・病院等における防火安全対策の徹底
- ・飲食店における防火安全対策の徹底
- ・大規模倉庫における防火安全対策の徹底

(五) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底

(六) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

- ・催しを主催する者に対する指導
- ・ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
- ・火気器具を使用する屋台等への指導
- ・照明器具の取扱いに係る指導

住宅防火 いのちを守る 七つのポイント

～三つの習慣・四つの対策～

三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



秋の全国火災 予防運動

11月9日～11月15日

火の用心

ことばを形に

習慣に



松風理咲

住宅用火災警報器



交換のおすすめ
10年たったら、
とりかえろ。



制作 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会 後援 消防庁 全国消防長会

このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



第82期 初任教育 査閲

半年間の訓練成果を披露！



一斉放水訓練

第82期初任教育生スローガン、「克己情熱～諦めるな 声を出せ 市民のために～」を胸に消防士としての新たな一歩を踏み出す！

取材：（公財）兵庫県消防協会



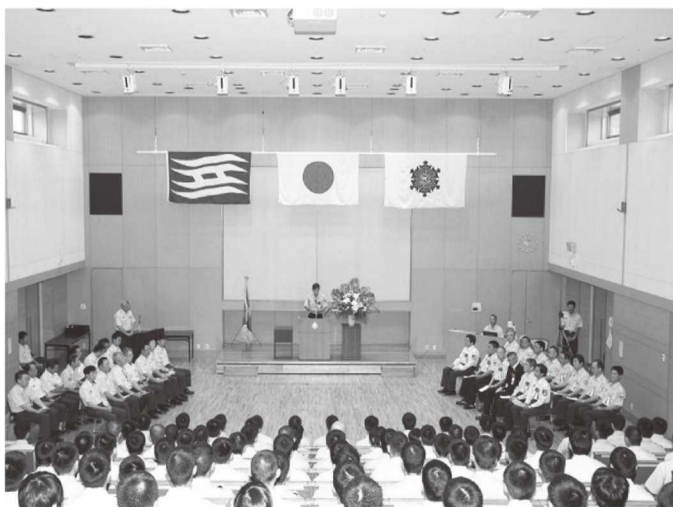
岸谷会長より激励のことは



消防活動応用訓練



通常点検



卒業式



答辞

九月二三日（土）、兵庫県消防学校にて第八二期初任教育査閲が執り行われました。四月に県内二三消防本部から一五二名（男性一四四名、女性八名）が入校し、半年間の厳しい訓練を経て、この査閲の日を迎えました。分列行進から始まり、それぞれの班に分かれて、機器取扱訓練や救助訓練、放水訓練など、学んだ技術を余すところ無く発揮しました。皆、入学式の時よりも精悍で逞しくなった姿で、半年間訓練を重ねてきた成果を家族や所属消防本部の方々に披露されました。

またこの半年間、自己鍛錬だけでは無く、つらく苦しい時間を共に過ごした仲間と、固い絆を結ぶこともできました。それを表すように、第八二期初任教育生は「克己情熱～諦めるな 声を出せ 市民のために～」というスローガンを掲げました。

「克己」とは自分に打ち勝つという意味を持つ言葉であり、辛く厳しい訓練で体力の限界を感じた時でも、この言葉を胸に、仲間のため、そして目の前にいる市民を助けるため、諦めることなく声を出し続けながら、一五二名が心を一つにし、数々の訓練を乗り越えてきました。卒業後、どんな困難な現場に直面したときでも、自分に打ち勝ち、決して諦めることなく市民を必ず守るという第八二期初任教育生の決意のこもったスローガンです。彼らのその熱い思いが、兵庫の未来の「安全」と「安心」に繋がります。

消防団ピックアップ!

『郷土愛護の精神と旺盛な責任感をもって』

猪名川町消防団

猪名川町は、兵庫県の南東部、大阪と神戸を結ぶ阪神都市圏の北部に位置し、東は大府豊能郡、南は川西市、西は宝塚市と三田市に、北は篠山市にそれぞれ隣接しています。また、京阪神大都市圏と丹波地方の中間地であり、都市の利点と農村の利点をそれぞれ融合できる地域特性を持ち、緑豊かな自然に恵まれたまちです。

猪名川町消防団は、昭和三〇年に二村の合併により猪名川町が誕生したことに伴い発足し、郷土愛護の精神と旺盛な責任感をもって、日々訓練を重ね活動を続けています。また、平成二八年四月に、人員確保と現場活動機能の充実のため、一部の分団を統合し、現在は二八分団、定数四〇七名で地域防災力の中核として、住民の安全確保のため活動しています。

『女性消防分団の発足』

平成二八年度に女性消防分団が発足し、女性ならではの発想や観点で今までとは違う角度から消防団をPRしていきます。さらには住民の様々なニーズにもこたえることができ、また、地域の方々との架け橋となれる活動を目指し、日頃から予防広報活動や消防



団の普及活動に取り組んでいます。女性消防分団の愛称「いながわLAMP(S) (ランプス)」は、LADDER Against Mind Protecting for Safetyの頭文字とLADIE S/AZALEA (町花・つじ) / MENS/PINE (町木・松)の頭文字を掛けて名付けられました。これには「火は正しく使い、明るい町を。わたしたちは、男女協力のもと、町に住む人々の「安全・安心に対する心」をハシゴ掛けします。」という意味も含まれており、このことをモットーに活動しています。

『林野火災を想定した小隊訓練の実施』

毎年六月に分団相互での連携を目的とした小隊訓練を実施しています。

この訓練は、実際の山林を利用して、水利から遠距離かつ高低差のある火点まで、小型動力ポンプで中継を行いながら、約三〇本のホースを延長する中継送水訓練で、併せてジェットシューターによる消火訓練も実施しています。

長距離で勾配がある場所での送水や分団間の連携及び情報共有の難しさを体験し、有事の際に迅速な活動ができるように、訓練を継続して行っています。



『小学校区防災訓練での活動』

当町では、災害から地域住民の生命・身体・財産を守るため、自主防災会・自治会が中心となり、災害発生時に迅速な対応と地域住民の防災意識の向上を図ることを目的として小学校区防災訓練を行っています。

その中で、消防団は、地域住民に対して初期消火や救出救助の指導を行うなど地域と連携した防火・防災活動の推進を図っています。また、このように地域住民とともに訓練をすることで、消防団が身近な存在であることを知っていただき、幅広い世代に対して効果的な広報活動ができています。

速な対応と地域住民の防災意識の向上を図ることを目的として小学校区防災訓練を行っています。



『組織再編』

近年、新入団員の減少や団員の高齢化などの課題がクローズアップされ、これらを解決するため消防団と各自治会長が協議を行ってきました。その結果、発足以来、長年続けてきた組織体制を見直し、一部の分団を統合しました。また、新たに女性分団を新設し、平成二八年四月からは二八分団で活動しています。また、車両についても従来の小型動力ポンプ付き積載車に変えて、効率性と機動力を兼ね備えた軽の人員搬送車を配備するなど、あらゆる災害に即

『地域の暮らしは 地域で守る』

豊岡市但東消防団

豊岡市但東町は、県の北東部、円山川上流に位置し、三方を京都府と隣接する府県境に位置します。

春のチューリップまつり、秋の安國寺ドウダンツツジ、「美人湯」と呼ばれる「シルク温泉」、自然に囲まれた「たんたん温泉」、モンゴル民族をテーマとした「日本・モンゴル民族博物館」などが好評で、人気のスポットになっています。

豊岡市内には六つの消防団(豊岡・城崎・竹野・日高・出石・但東)があり、広大な六九八平方キロメートルの市域でそれぞれに活動しています。このため「大規模火災発生時の消防団相互応援」の取決めを、平成二八年四月から運用開始しています。豊岡市

時対応できる体制を整えました。

但東消防団は但東地域百六十

二平方キロメートルを担当し、全七分団、二二八名で活動しています。

毎年、夏期訓練、操法大会、防火デー訓練、年末特別警戒山火事防火パレードなどを通して、団員の技術の向上、住民への防火啓発などを図っています。

■出石消防団との合同訓練

隣接する出石消防団との合同訓練では、林野火災を想定し、中継送水による放水を行うなど、大規模火災時にも対応できる消火体制強化に向けた訓練を行っています。

■消防操法大会

消防操法大会は毎年、八月実施。大会に向けて分団ごとに七月から訓練を開始し、消防技術の向上と団員の士気・連帯意識の高揚を図っています。

■運動会で消防ポンプ車操法を披露

高橋小学校では午前中は学校運動会、午後は校区民運動会を実施し、毎年多くの参加者で地域の重要なイベントとなっています。地域を守る消防団活動を子どもたちや地域住民に理解していただくと共に防火意識の向上を目的として午後の演技の中で消防ポンプ車操法を披露しています。演技が始まり、火点を倒した際には大きな拍手があげられます。運動会での操法演技を通して「地域の暮らしは地域で守る」という団員の士気高揚にもつながっています。



3時間の普通救命講習

Dの使用法など、緊急の応急処置について基本から学んでいます。



出初式での一斉放水の様子



操法大会に向けた夜間訓練



小学校運動会で操法演技披露

■普通救命講習

毎年、普通救命講習会を市消防本部の指揮により実施しています。心肺蘇生法、A E

わが町の団長さん

「安心に暮らせる町を目指して」

たつの市消防団

山田 好則



たつの市は、市の中心を揖保川が流れ南は瀬戸内海まで南北に長く、播磨の小京都と呼ばれる白壁の古い町並みや江戸時代の面影を残す港町があります。

このような多様な地域性のため、火災種別は工場火災や密集地での火災、林野火災など多種多様でありこれらの火災に対応するため、日頃から訓練を積み重ねています。たつの市消防団は現在一団四七分団、団員数一三三四名からなり、このたつの市消防団に山田団長は昭和五四年四月に入団され、以来三八年間消防団活動に対する情熱、行動力を持って平成二八年四月に消防団長に就任されました。

菜がたくさん入っています。また、地域活動の一環として野球の審判員としても活躍されています。

普段は温厚な団長さんですが、いざ消防団活動になると厳しさも持ち合わせ、消防団員としての規律を何よりも大切にされ、敬礼動作には威厳がありその場の空気が一瞬にして張り詰めます。

これからもたつの市消防団を牽引し、地域の防火・防災のリーダーとして活躍されることを願っています。

「丸となって!!」

加東市消防団

小松志津雄



加東市は兵庫県の中央部・播磨地方の東側に位置する人口約四万人の内陸都市です。旧加東郡の社町、滝野町、東条町が、平成一八年三月二〇日に合併して加東市が誕生し、昨年は市制一〇周年という大きな節目を迎えましたが、市民の安全・安心を守るために日夜活動を行っている加東市消防団も結成して一〇年となりました。

加東市消防団は、団長以下副団長三人、小隊長二人、

団員一四八人で七五の分団が構成されており、その先頭に立ち、指揮を執るのが小松団長です。

団長は、旧東条町で昭和六三年に入団され、合併後は平成一〇年に小隊長、平成一四年には副団長に、そして平成二八年からは団長に就任されました。

小松団長は、自らが、サラリーマンであることから、いざ出動といった場合であっても、出動が難しいことがあるため、団員の多くを占めるサラリーマンの気持ちを良く理解されており、団員が働いている会社に足を運び、緊急時の出動許可のお願いをされるなど、多くの団員に慕われる人望の非常に厚い方です。火災や水害のほか、近年増えつつある認知症の方などの捜索活動が発生した場合、殆どにおいて先頭に立って陣頭指揮を執られ、団員をまとめあげておられます。

また、日々の消防活動の傍ら多彩な趣味をお持ちですが、特にアウトドアがお好きで、年間をとおして、常に体を動かす行動力のある方でもあります。

消防団組織を取り巻く環境は、近年の少子高齢化、就業構造の変化、市民の地域社会への帰属意識の希薄化などにより、団員確保が年々厳しくなっています。消防団の使命は「地域住民の生命、身体及び財産を守る」という揺るぎ無い信念のもと、今後「団員一丸となって精進していきたい」と熱く語られています。

安原団長は、合併前の旧千種町消防団に昭和五九年入団されて以降、地域の安全安心のために昼夜問わず活動され、平成一一年からは一七年間の長きにわたり副団長として、前団長の一番の理解者として、また災害現場や各種訓練においては、長年の経験を生かした的確な指揮をとられました。そして、前団長より後継指名を受けられ、平成二八年より

「消防をとことん愛し、地域を守る!」

宍粟市消防団

安原 勝則



平成29年度消防出初式にて

宍粟市は、鳥取県・岡山県と隣接した兵庫県中西部に位置し、県内最高峰の水ノ山をはじめとする千メートル級の山々、清流揖保川・千種川が流れる自然豊かで四季折々の美しい風景が自慢のまちです。

また、宍粟市は淡路島の一・一倍の広大な面積を有しており、その約九割が森林で、『森とともに生きるまち』をキャッチフレーズとして、県内で初めて「森林セラピー基地」の認定を受けるなど、自然を活用した様々な取り組みが進められています。

さて、宍粟市消防団は、安原団長以下一五三六名、消防車両九五台を有しており、県下でも規模の大きい消防団です。

安原団長は、合併前の旧千種町消防団に昭和五九年入団されて以降、地域の安全安心のために昼夜問わず活動され、平成一一年からは一七年間の長きにわたり副団長として、前団長の一番の理解者として、また災害現場や各種訓練においては、長年の経験を生かした的確な指揮をとられました。そして、前団長より後継指名を受けられ、平成二八年より

また、普段の団長は、個人商店を営まれており、夜が明けると前から配達に出かけるたいへんな毎日をごさされています。また、地域行事にも積極的に参加されるなど人柄もよく、地域の方々から「かっちゃん」と愛されています。そんな「かっちゃん」も、ひとたび災害が発生すると、どんなに遠方であっても現場へ駆けつけ陣頭指揮をとる、とことん熱い消防人に変身します。

第二代宍粟市消防団長として指揮をとられています。近年、火災件数は減少傾向となっておりますが、高齢者の行方不明による捜索活動や台風、局地的豪雨による出動が増えつつあります。このことから、安原団長は火災に備えた訓練だけでなく、水防訓練のさらなる充実や行方不明における行動パターンの検証など、日々その重要性をうたえられています。

また、普段の団長は、個人商店を営まれており、夜が明けると前から配達に出かけるたいへんな毎日をごさされています。また、地域行事にも積極的に参加されるなど人柄もよく、地域の方々から「かっちゃん」と愛されています。そんな「かっちゃん」も、ひとたび災害が発生すると、どんなに遠方であっても現場へ駆けつけ陣頭指揮をとる、とことん熱い消防人に変身します。

そんな安原団長ですが、団長を引き受けられるにあたっては、ご家族の事を考え、大変悩まれたそうです。しかしながら、地域を守りたいという気持ちは強く、ご家族とも話を重ねられた結果、団長として宍粟市消防団を束ねていく決心をされたようです。今後、引き続き、熱い気持ちで地域を守る活動を展開していきます!

がんばってます、女性消防団員

『楽しい消防団活動』を目指して

加古川市消防団「加古川リバーエンジェルス」

分団長 藤田 千帆

私たち加古川市消防団女性分団は、加古川市消防団の一九番目の分団として平成一八年四月に団員数二〇名で発足しました。結成から一〇年が経ち、現在は一三名で活動しています。

主な活動は、幼稚園での火事・地震等の避難訓練、男性消防団員を対象とした普通救命講習、一般市民への救急講習、火災予防の啓発活動、各種イベントにおける広報活動、出初め式で演奏する消防ラッパの練習等で、男性消防団員と一緒に訓練をすることもあり、楽しく活動しています。

去年より、日本消防協会から着ぐるみの「消太」をお借りし、幼稚園訓練や啓発活動時には、一緒に参加しており、特に園児には大人気で、活動時の雰囲気が変わるのでお助めです。

また、今年度は、男性分団の山林消火訓練に合わせて、女性分団では初めて炊き出し訓練を行う予定です。

近年、幸いにも大きな災害に見

舞われていない加古川市ですが、いつ何が起るかわかりません。様々な訓練を実施してみても今後の課題を見つけたかと思っております。

現在の悩みとしては、全国的に女性消防団員は増加傾向ですが、私たちの分団は、なかなか団員が増えていません。

今後、さらに活動の幅を広げて、加古川市消防団女性消防団を知ってもらい、楽しい消防団活動を目指したいと思っております。



火災予防広報 (ティッシュ配り)

地域のお知らせ

市川町

国産ゴルフアイアン製造発祥の地

市川町は、兵庫県のほぼ中央に位置したハート型のまちです。総面積は八二・六七平方キロメートル、人口約二二、五〇〇人のまちです。町の中央部を清流市川が流れ、北東部には「播磨富士」とも呼ばれる笠形山がそびえています。市川町で完成した国産初のゴルフアイアンヘッド

昭和三年頃、兵庫県工業試験場三木分場にグリーンのホールカップ切りと一緒に、アイアンヘッドが研究材料として持ち込まれました。その担当研究員の一人に市川町出身の松岡文治さんという方がおられ、同じく市川町で鍛冶工をする森田清太郎さんに、アイアンヘッドの製作を依頼しました。当時はアイアン製造のための資料もなく、何度

も試行錯誤を重ね、ついに刀鍛冶の技術を活用した鍛造製法による国産初のアイアンヘッドが完成し、昭和五年に量産化に成功しました。昭和三〇年代のゴルフブームにより、一気に生産量が増加し、昭和四〇年代には全国のアイアンヘッドの約七割を生産していたとされます。現在も市川町では、約二〇社のゴルフ関連企業が活躍されています。

市川町で製造されるアイアンヘッドは、刀鍛冶の技術を活用して、約一、二〇〇度に熱した軟鉄を金型に入れて高圧でプレスする「鍛造製法」で作られています。鍛造製法で作られたアイアンヘッドは、一般的に打球感が柔らかく、ライ角、ロフトの微調整もできるため、プロやゴルフファンには根強い人気があります。祝日本遺産認定「播但貫く、銀の馬車道 鉦石の道」市川町スポーツセンターに「銀の馬車道沿線公園」がオープン！



市川フォージドアイアン

われら若手消防団員

～消防団の中核を目指して～



上郡町消防団 上郡分団 平井 大貴

私は、平成二五年に上郡町消防団に入団し、現在で五年目になります。入団のきっかけは、大学を卒業して地元就職が決まり、職場や近所の団員さんから入団を勧められたことでした。私が所属する分団は、消防ポンプ車を保有し、町の中心街を本拠に町内全域を管轄する特別機動部隊に指定されています。それだけに、普段からの訓練も非常に熱心で、入団当初は戸惑いと不安が尽きませんでした。分団長や先輩方に支えられ、

現在も研鑽を積み重ねているところ。特に、三年前に初めて出場した操法大会では、動作も要領も何一つ分からないゼロから始め、厳しくも懇切丁寧な指導のもと訓練に励んだ結果、町大会で技能賞を受賞することができました。操法を通じて、団員としての成長を実感することができたのは非常に良い経験でした。消防団に入団して五年目を迎え、後輩となる新たな団員が増えつつあります。私は、これまで多くの人々に支えられてきましたが、これから後輩への指導を始め、消防団を支える中核の立場へ移行していかなければなりません。消防団の要として、さらに地域防災の担い手として、今まで以上に積極的に活動に取り組みたいと考えています。



この公園は「体験できる銀の馬車道」をキーワードに、遊具に銀の馬車道ロゴマークや沿線市町のイメージキャラクタークタを取り込むとともに、周辺マップや銀の馬車道沿線物語を記した説明看板があり、見て・学んで・楽しめる施設です。全長一五メートルの巨大な遊具の中に、トンネルスライダやネット通路、ロープ登りなどのアスレチックがたくさんあります。遊具周辺の地面には、銀の馬車道の形状を型取ったカラフルなゴムチップによるマットが敷かれていますので安全に遊ぶことができます。みなさんぜひご利用ください。



銀の馬車道沿線公園

日本列島の中心・日本のへそ

西脇市

●日本のへそ西脇市
西脇市は兵庫県のほぼ中央部、東経一三五度と北緯三五度が交差する「日本列島の中心・日本のへそ」に位置しています。

●西脇のグルメ
西脇のグルメの代表格は、「播州ラーメン」です。細めの縮れ麺に、チャーシュー・ねぎ・もやし・のりなど具はシンプルですが、何と云っても最大の特徴は「甘い」スープです。このスープは播州織が隆盛を極めた昭和三十年代に、西日本各地から集団就職で西脇市に来ていた若い女性たちの口に合うように作られたことがルーツとなっています。

●播州織
約二二〇年前から西脇市を中心とした周辺市町で作られる「播州織」は先染めの綿糸で織り成す匠の織物です。織り柄は多彩で肌触りの良さも一級品です。近年は、機屋さんとデザイナーがコラボした斬新な生地づくり、シャツやショール、バッグなどの製品づくりなどが行われるようになり、ますます注目を集めています。



西脇ローストビーフ



西脇ローストビーフ

また、平成二八年二月には市内の飲食店経営者が中心となり、新・ご当地グルメ「西脇ローストビーフ」が開発されました。

●茜が丘複合施設 Mirai e
平成二七年一〇月にオープンした茜が丘複合施設 Mirai e (みらいえ) は、図書館、こどもプラザ、男女共同参画センター、コミュニティセンターの機能を併せ持つ施設です。子どもから大人まで

誰もが楽しみながらゆっくり過ごすことができる場所となり、市内外からの親子連れなどでいつもにぎわっています。ぜひ週末のドライブ等でお立ち寄りください。



茜が丘複合施設

編集後記

朝夕冷え込むようになり、冬はもう目の前ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月号では、第一面と第二面に、姫路市消防フェアの記事を掲載しております。当日の会場写真と共に、お楽しみいただけると幸いです。

また、第三面では、九月三〇日に秋田県秋田市で開催されました「第二十三回全国女性消防操法大会」の記事を掲載しておりますのでご覧ください。出場されました神戸市灘消防団の皆様お疲れ様でした。これからの時期は空気が乾燥し、また、暖房器具を使う機会が多くなることから、火災が非常に発生しやすくなります。火の取扱いは十分ご注意ください。